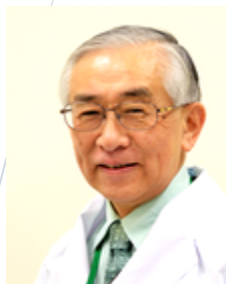


東都文京 だより

2020年7月1日 第22号

発行：医療法人社団大坪会
東都文京病院広報委員会
〒113-0034
東京都文京区湯島3-5-7
TEL: 03-3831-2181

—東都文京病院2020年の夏—



連日の雨に木々の緑も深くなり、例年とは異なる社会状況下での夏を迎えることになりました。気象予報では今年の夏は猛暑が予想され、コロナ禍での熱中症対策が求められることになり、一層の注意が必要です。

WHOのパンデミック宣言後4カ月になろうとしています。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡がりはまだ続いています。6月28日現在、世界の累積感染者数は986万人、死亡者数49万6千人、日本の累積患者数は1万8千人、死亡者数は972人と報告されています。人口100万人当たりの死亡者数（6月16日現在）は、日本7人で、タイ、台湾、マレーシア、韓国などと共に極めて少なく、イタリア557人、米国333人、オランダ350人などに比べ2桁少ないことが注目されています。死亡率の地域差には生活習慣、衛生環境、遺伝的素因、医療体制、行政の取り組みなど多くの因子が複合的に関与していると考えられていますが、その一つに「BCG前期株の広範な接種により強化された自然免疫」が重症化リスクを下げる因子として推察されています。

さて、東都文京病院は東京都の要請にこたえて4月20日より新型コロナウイルス感染症(中等症以下)の患者さんを受け入れる体制を整え、院内感染を起こさないこと、スタッフから感染者を出さないこと、などを心がけながら慎重に感染対策を進めてまいりました。この間、多くの方々よりマスクを始めとする感染防護具などのご寄贈や温かいご支援のお言葉をいただきました。この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

一方、患者の皆様のご心配、ご不安なお気持ちからの受診抑制は、予想以上に大きく、感染症以外の患者数の著しい減少となり、病院財務に影響を与えております。緊急事態宣言は解除されましたが、手洗い、手指・環境消毒、マスク着用、「3密」環境の回避など、日常生活での感染予防にご留意いただき、体調に異常を感じたら、躊躇なく病院をご受診ください。

(裏面につづく)

(つづき)

東都文京病院は、急性期から回復期・慢性期の医療に加えて、周産期・小児医療、健康長寿の延伸を目指す健診まで幅広く対応する「小回りの利く総合病院」として、コロナ禍の困難な状況においても、地域の皆様の健康を守ってまいります。皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。

2020年7月1日

東都文京病院院長 杉本充弘

感染防止対策室より



こんにちは、感染防止対策室です。

1992年、院内の各部署を横断的につなぐ感染防止対策委員会が、当初は多剤耐性菌の感染防止を目的に第1版の感染防止マニュアルを作成しました。2012年、院内感染対策活動を中核的に担う部署として感染防止対策室をおくこととなり、様々な感染症に対応しながら現在まで活動を続けています。

患者さま、ご家族さま、そして職員への感染症伝播の防止のため、院内の巡視や感染事例の把握、職員の研修、抗菌薬の使用状況の把握、連携医療機関との会議、などの業務を行っています。

これからも患者さまが安心して医療を受けられるよう、院内感染対策を実施していきます。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、手洗いや手指消毒、マスクの着用、面会の制限など、これまで以上に患者さまやご家族さまにご理解ご協力をいただいているところでございますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

総合健診センターより



緊急事態宣言期間中に休止していた人間ドック・各種健康診断の新規予約を5月から再開しております。

当センターでは、皆さまに安心して人間ドック・健診をご受診いただけるように、感染予防対策を行っております。どうぞご利用ください。

人間ドック・健康診断 予約専用フリーダイヤル
0120-109-671 (9:00~17:00)

2020年5月11日 病院ホームページをリニューアルしました。

お気づきの点などございましたら、広報委員会まで
お知らせいただきますようお願いいたします。